

科目区分	専門分野	授業科目	精神看護学概論
講師名		実務経験の有無	有
単位数(時間)	2単位(30時間)	開講年次	2年次
目的：精神看護の特徴と基本概念を理解する。 目標：1 こころの健康と精神看護の目的を理解できる。 2 こころの機能と発達を理解できる。 3 精神保健医療福祉の歴史の変遷および社会資源を理解できる。			
授業計画			
単元	時間	内 容	
1 こころの健康と精神看護の目的	4	1 こころの健康とは 1) 精神の健康とは 2) 精神の健康における危機 3) 精神障害のとうえ方 4) 精神障害をもつ人の病の体験 (1) こころを病むということ 2 精神看護の目的 1) 一次予防・二次予防・三次予防 2) リカバリーの概念	
2 こころの機能と発達	9	1 こころのしくみと人格の発達 1) フロイトの局所論・心的構造論・力動論 2) 自我の防衛機制 2 ライフサイクルと精神機能の発達 1) エリクソンの漸成的発達理論 2) ボウルビイの愛着理論 3) ピアジェの認知発達理論 4) こころの発達を促進する看護のあり方 3 心身の健康に及ぼすストレスの影響 1) 生体システムとしてのストレス反応 2) 精神保健における危機と対応 4 心的外傷(トラウマ)と回復 1) トラウマインフォームドケア	
3 精神保健医療福祉の歴史と法制度	12	1 精神保健医療福祉医の歴史の変遷 1) 諸外国における精神医療の変遷 2) 日本における精神医療の変遷 2 精神障害者に関連する法制度 1) 精神保健福祉法 (1) 目的 (2) 入院医療 ア) 入院形態 イ) 行動制限と行動制限最小化 ウ) 虐待防止 エ) 精神医療審査会 2) 障害者基本法 3) 発達障害者支援法 4) 自殺対策基本法 5) 障害者総合支援法 6) 医療観察法	

4 精神保健 医療福祉に 関する社会 資源	4	1 医療サービス 1) 継続医療・看護に活用できる資源 2 福祉サービス 1) 生活支援に活用できる資源 3 経済的支援の制度 4 行政サービス 5 民間サービス
	1	試験
評価方法		筆記試験
テキスト		医学書院 精神看護学〔1〕 精神看護の基礎
参考資料		医学書院 精神看護学〔2〕 精神看護の展開
履修上の 留意事項		予習・復習をして授業に臨むこと。
備 考		

科目区分	専門分野	授業科目	精神看護学援助論Ⅰ
講師名		実務経験の有無	有
単位数(時間)	1単位(30時間)	開講年次	2年次
目的：さまざまな社会生活における心の健康とそれらに影響を与える諸要因を理解し、健全な心の発達への援助に必要な基礎的知識を習得する。 目標： 1 精神保健が関与する社会病理現象への対策と支援の視点が理解できる。 2 精神に障害のある対象の社会復帰に向けた看護を理解できる。 3 リエゾン精神看護の役割を理解できる。 4 災害時の精神保健医療活動の目的と方法を理解できる。 5 対象との相互作用の過程を考察できる。			
授業計画			
単元	時間	内 容	
1 現代社会と精神の健康	8	1 精神保健が関与する社会病理現象 1) 社会構造の変化と社会病理 2) 社会病理現象への対策と支援のポイント 2 家族内における精神の健康 1) 現代の家族の様相 2) 夫婦関係と親子関係 3) 家族システムとライフサイクル 3 学校における精神の健康 1) 学校における精神保健上の課題と支援 2) 学校内で精神保健を司る職種 4 職場における精神の健康 1) 職場における精神保健上の課題 2) 職場におけるメンタルヘルスケア 5 地域における生活と精神の健康	
2 地域における生活の支援	4	1 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム 2 地域移行支援の展開 1) 対象者 (1)長期入院患者 (2)早期退院患者 (3)在宅療養者 (4)未治療者引きこもり者 2) 支援の内容 3 地域生活支援の展開 1) 病院における多職種連携による支援 2) 地域における多職種連携による支援 3) 訪問看護師による支援	
3 精神看護の発展	2	1 リエゾン精神看護 1) リエゾン精神看護とは 2) リエゾン精神看護活動	
	4	2 災害時の地域における精神看護 1) 災害とストレス 2) 災害時の精神保健医療活動の基本 3) 被災した精神障害者への支援	
4 患者看護師関係とプロセスレコード	11	1 患者看護師関係に関する看護理論 1) ウィーデンバック 2) オーランド 3) ペプロウ	

		4) トラベルビー 2 プロセスレコード 1) プロセスレコードの目的 2) プロセスレコードの活用方法 3) プロセスレコードの実際 (1) プロセスレコード場面の選択とねらい (2) 場面の過程（プロセス）を文字におこす (3) 過程（プロセス）の分析・考察・自身の傾向と課題の明確化
	1	試験
評価方法		筆記試験
テキスト		単元1・2：メヂカルフレンド社精神看護学① 精神看護学概論 メヂカルフレンド社 精神看護学② 精神障害をもつ人の看護 単元3：メヂカルフレンド社 精神看護学② 精神障害をもつ人の看護 単元4：医学書院 基礎看護学〔2〕 基礎看護技術Ⅰ
参考資料		医学書院 精神看護学〔2〕 精神看護の展開
履修上の 留意事項		予習・復習をして授業に臨むこと。
備 考		

科目区分	専門分野	授業科目	精神看護学援助論Ⅱ
講師名		実務経験の有無	有
単位数(時間)	1単位(30時間)	開講年次	2年次
目的: 精神の健康問題を抱えて入院している患者や地域で生活している人や家族を支援するための基礎的知識を習得する。 目標: 1 精神に障害のある対象の健康回復に向けた看護を理解できる。 2 精神に障害のある患者の看護を理解できる。 3 精神に障害のある患者への看護の展開を理解できる。			
授業計画			
単元	時間	内 容	
1 精神障害をもつ人の看護	8	1 患者－看護師関係の構築 1)精神障害をもつ人の理解 2)看護師に求められる基本的な態度 3)精神障害をもつ人との関わり方 2 精神科病棟における事故防止・安全管理と倫理的配慮 1)治療環境の整備と行動制限 2)緊急事態への対応 (1)自殺 (2)暴力・暴力防止プログラム (3)離院 (4)災害時の安全管理 3 精神科の診察・検査・治療に伴う看護 1)診察時 2)心理検査 3)薬物療法 4)電気けいれん療法 5)心理・社会的治療 4 精神科リハビリテーション 1)精神科リハビリテーションの基盤となる考え方 (1)ストレングス (2)エンパワメント (3)レジリエンス 2)回復過程に応じたリハビリテーションの提供 3)長期入院患者のリハビリテーション 5 精神障害をもつ人への援助 1)回復段階に応じたケア 2)日常生活におけるケア 3)日常から気を付けておきたい身体合併症 6 精神科でのチーム医療 1)チーム医療における各職種の役割 2)チーム医療における看護師の役割 7 精神障害をもつ人をケアする家族への支援 1)精神障害の家族への影響 2)家族への支援	
2 精神看護の実際	6	1 統合失調症患者の看護 2 うつ病・双極性障害患者の看護 3 小児期・青年期に発症する行動・情緒障害患者の看護 4 アディクションの問題をもつ患者の看護 5 パーソナリティ障害患者の看護	

		6 摂食障害患者の看護 7 神経症性障害患者の看護
3 看護過程 の展開	15	1 事例をもとにした看護の展開 ※1 展開事例:統合失調症 1)精神看護におけるアセスメントの特徴 2)目標設定・必要なケアの明確化 3)日々の関わりの振り返りのポイント
	1	試験
評価方法		筆記試験、レポート
テキスト		メヂカルフレンド社 精神看護学② 精神障害をもつ人の看護
参考資料		医学書院 精神看護学〔1〕精神看護の基礎 医学書院 精神看護学〔2〕精神看護の展開
履修上の 留意事項		予習・復習をして授業に臨むこと。 提出物は、提出日時を厳守すること。
備 考		※1は演習を行う。

精神看護学実習

〔2単位 90時間〕

目的

精神に障害のある対象を理解し、健康段階・暮らしの場に応じた看護を実践するための基礎的能力を養う。

目標

- 1 精神に障害のある人とのかかわりを通して、関係性を築いていくプロセスの理解ができる。
- 2 精神に障害のある人への必要な医療および看護が理解できる。
- 3 精神の障害とともに地域で暮らす人に必要な支援方法が理解できる。
- 4 精神の障害とともに暮らす人を支える多職種連携と看護の役割を理解できる。
- 5 専門職業人としての倫理観を持ち、責任ある行動がとれる。
- 6 実習での学びと自己の課題が明確にできる。

精神障害者自立支援施設

目的

精神に障害をもちながら地域で暮らす対象を理解し、対象が自立するために必要な支援の実際と看護の役割を理解する。

目標

- 1 精神障害者自立支援に関する施設の概況及び活動状況を知り、役割・機能が理解できる。
 - 1) 施設の概況や特徴が理解できる。
 - 2) 施設の通所者の概況や活動状況が理解できる。
- 2 精神に障害をもちながら地域で暮らす人が理解できる。
 - 1) 通所者の心身社会的な健康状態が理解できる。
 - 2) 通所者の通所までの経緯と通所の目的が理解できる。
- 3 精神に障害をもちながら地域で暮らす人が自立するために、必要な援助活動の実際が理解できる。
 - 1) 活動プログラムの目的及び内容が理解できる。
 - 2) スタッフの通所者への関わり方が理解できる。
- 4 精神に障害をもちながら地域で暮らす人を支える多職種の役割と連携方法、看護の役割を理解できる。

実習期間及び時期

2～3年次 2日間

病院

目的

精神に障害のある対象への理解を深め、対象の状態に合わせた援助方法を学び、人間関係構築の基礎的能力を養う。

目標

- 1 対象とのかかわりを通して、こころのありようが理解できる。
 - 1) 対象の言動をありのままに受け止め、対象の状態や反応の意味を理解できる。
 - 2) 対象とのかかわりにおける自分自身の感情や思考の特徴に気づき、言動とのつながりを理解できる。
 - 3) 対象とのかかわりを通して、自己理解、他者理解を深めることができる。
- 2 精神に障害のある人を理解し、必要な看護を理解できる。
 - 1) 対象の状態を身体的側面、心理的側面、社会的側面から理解できる。
 - 2) 対象の強みを考慮し、必要な看護援助を実践できる。
 - 3) コミュニケーション技法を取り入れ、効果的なコミュニケーションをとることができる。
 - 4) 看護援助の過程を振り返り、相互作用について考察できる。

実習期間及び時期

2～3年次 9日間